

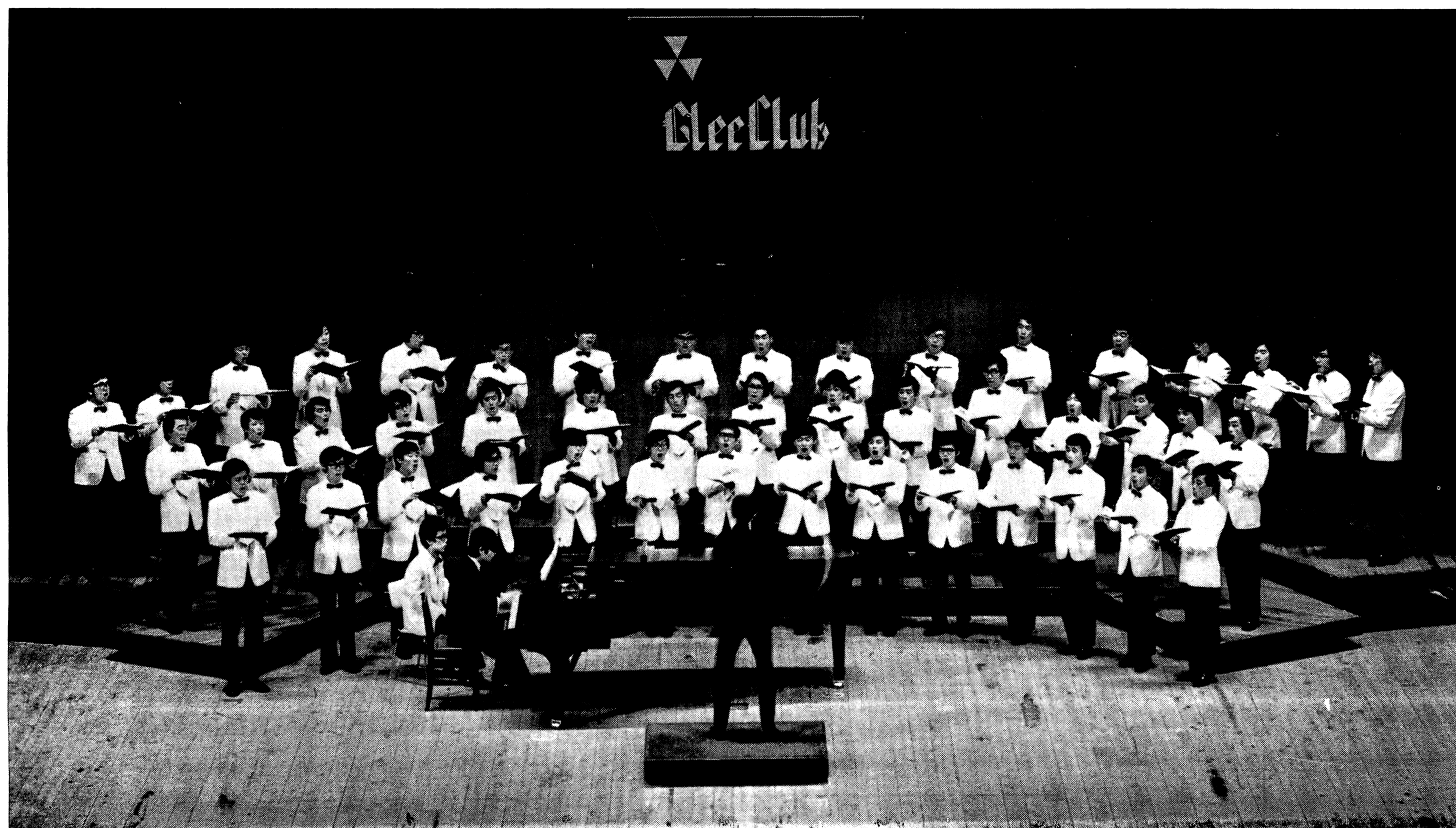
 **DOSHISHA**

GLEE CLUB

THE 68TH

ANNUAL CONCERT

同志社グリークラブ 第68回定期演奏会



1972年12月10日〈日〉
大阪厚生年金会館大ホール

御 挨 拶

本日は御多忙の折、私達同志社グリークラブ第68回定期演奏会に御来場下さいましてありがとうございます。

私達同志社グリークラブは創立以来、やがて70周年を迎えようとしています。この間には幾多の困難もございましたが、私達はいつも真摯な気持ちで音楽芸術を追求し、歌う事の情熱さを絶やさずに歌い続けてくることができました。これも皆様方の暖い御支援の賜物と深く感謝しております。

今宵の演奏が御来場の皆様方に少しなりとも感動を与えることが出来たら、私達にとってこれにまさる喜びはございません。

同志社グリークラブ

関西合唱連盟理事長
中村仁策

久し振り、ほんとに久し振り、私は同志社の出身あり乍ら、成績不良だったせいか、母校のしきいが高くて仲々訪れる事もなく、従って諸君の練習場ものぞく事も久しくなかった。しかし諸君のステージに電波にレコードに接する度に、やはりなつかしく、そしてほのぼのとした暖かさを感じる。グリーからこのメッセージの依頼と共に予定曲目を聞いて思わずうーんとうならされる様な献立だ。私達が昔、学生時代に虎と子の様に後生大事に歌いつづけたシューベルトの数々の名曲、モーツァルトが特に自分でもメンバーであったフリーメーソンのために作った庶民的な、カンタータ、それが福永さんのタイトルで、どんなに素晴らしい音の芸術が生まれるか、楽しみだ。それに「十の詩曲……」と諸君が今迄充分唱い込んで「蛙の歌」、必ずや関西合唱界いや全日本の合唱に大きな話題を残す事だろう。

本日最後のステージの最後の曲の最後の終止形の余韻が大ホールから消えたその瞬間の諸君の感激が目に見え様だ。

さあ 心ゆくばかり、力一杯歌って下さい。

第68回定期演奏会によせて

同志社グリークラブ顧問
同志社大学神学部教授
遠藤 彰

人間はいつの頃から音楽といわれるわざを始めたのでしょうか。人類はその創造のはじめ、すでにその心に詩を、そしてその唇に歌を持って生れたであろうと思われるほどに、我々の生活と行動のすべてに音楽は離れがたく結びついています。自然の美しさを賛え、生の歓びを歌うことは、自然が破壊され生が悲哀に変えられる暗黒の表現をも含めて、我々の日常に欠くことのできないことがらです。私はかつてアフリカ諸国の青年たちと暫らく生活を共にしたことがあります。誰かが即興のメロディーを口ずさむとすぐ他の者たちが和音をつけ、全員が手拍子足拍子で踊りだすその生来の音楽性に脱帽したものでした。

音楽はこのように日常的なものであると同時に、日常性を超えたものでもあります。何年か前ロンドン滞在中、ウエストミンスター寺院でのオルガンリサイタルを聞きに行った時のこと、定刻に数分遅れたため扉はすでに閉ざされ数十名の遅刻者は非情にシャットアウトをくいました。厚い扉と壁は中の何の物音も外に伝えてはくれず、我々は空しく暗闇に立ちつくしやがて諦めて散りました。音楽には我々の安易な日常の営みを切断し永遠と超越の世界を思念させるものがあります。その時、我々の日常のすべては洗いざらい永遠の光によって評価を受けるのでしょうか。私には定期演奏会とはそんな、時のように思えます。そのような意味で、こよいの演奏会がみのり多いものとなるように願っています。

Program

Doshisha College Song

I. フリーメーソン カンタータ

Dir Seele des Weltalls (宇宙の魂に)

Dir Maurerfreude (フリーメーソンの喜び)

指揮=福永陽一郎
ピアノ伴奏=笠原 進
テノール独唱=黄 耀明
作曲=モーツァルト

II. シューベルト 男声合唱曲集より

1. Der Gondelfahrer (ゴンドラを漕ぐ人)

2. Nachthelle (夜の明るみ)

3. Gott meine Zuversicht (神はわが牧者なり)

4. Nachtgesang im Walde (森の夜の歌)

指揮=福永陽一郎
ピアノ伴奏=笠原 進
作曲=シューベルト

INTERMISSION

Ⅲ. 蛙の歌

小 曲
亡 霊
鰻 と 蛙
蛇祭り行進
秋の夜の会話

指揮=富岡 健
作詩=草野 心平
作曲=南 弘明

Ⅳ. 「十の詩曲」による六つの男声合唱曲

雄々しく進もう
果てなき荒野
死刑の戦士
怒りの日
鎮 魂 歌
歌

指揮=福永陽一郎
作詩=安田 二郎
作曲=D. Shostakovitch
編曲=福永陽一郎
<OB賛助>

曲目解説

フリーメイソンとモーツァルト

福永陽一郎

フリーメイソンとは、1717年に正式に設立された、コスモポリタニズム、すなわち世界市民主義的・自由主義的な友愛組織である。本来、政治的陰謀を目的とする秘密結社などではないのだが、加入に際してきわめて象徴的・神秘的な儀式をおこなうことや、メンバー相互の認知のための合図や符丁が秘密とされるため、また国家の存在を否定するコスモポリタニズムのゆえに、しばしば政治的あるいは宗教的な猜疑と迫害の対象となった。しかし、その理神的信仰、個人主義的倫理、人類の進歩に対する信念などに於て、ブルジョアジーの時代の啓蒙主義と密接に結びつき、多くの知識人の共鳴を呼び、フリードリッヒ大王をはじめとする国家の指導者や、学者、芸術家が、こぞって参加した。新しいインターナショナル・コスモポリタリズムが滲透しつつある現代においては、フリーメイソンリーは、発展的に解消する運命にあるが、過去三世紀にわたって、多くの理想主義者の拠点であったのである。

その理念からいって、フリーメイソンは、当然のことながら、帝国主義的国家主義（ナチズム）と正面から対立したため、ナチス時代には、ますます地下組織の様相を深めざるを得なかった。迫害から逃れるための徹底した秘密主義は、あたかも全ヨーロッパ的大陰謀をくわだてているかのような誤解を招いた。そして、モーツァルトがフリーメイソンの一員だったことは、終始、タブーとして扱われてきた。

フリーメイソンの社会では、その神秘主義的儀式における必要から、音楽がきわめて重要視された。1784年12月14日に結社に加入したモーツァルトは、その儀式のためのカンタータをいくつも書いたが、それらは、第二次世界大戦のあとになって、はじめて陽の目を見た。歌劇「魔笛」の音楽をのぞいては、モーツァルトのオリジナルの男声合唱曲が日本で公演されるのは、はじめてである。

カンタータ「宇宙の魂に」

1785年にウィーンで作曲された、テノールと男声合唱の未完成カンタータで、シュタットラーが加筆して完成した。フリーメイソンにとって「光」の象徴である太陽に対する讃歌である。明るく高らかな響きを持つ。

カンタータ「フリーメイソンの喜び」

1785年4月24日に、ウィーンのフリーメイソンの中心的人物だったイグナツ・フォン・ボルン（オーストリー皇帝ヨーゼフ二世？）の徳をた、えるために作られた。テノール独唱のためのアリアと終結合唱から成る。

男をみがく 1,000円 さわやかコース!



これが今話題のサウナニュー大將軍です。体をひきしめ 明日への活力を第一に、ニュー大將軍で今日の疲れをいやして下さい。サウナに入って お肌をすっきり早朝でもお好きなときにご利用いただけます。

ご入浴料金	
Aコース(サウナ+洗顔+マッサージ).....	¥2,500
Bコース(サウナ+マッサージ).....	¥2,200
Cコース(サウナ+ご入浴).....	¥1,000

男をみがく
サウナサナ ニュー大將軍
京都阪急西条大宮駅前 TEL(075)611-7887

営業時間・オールナイト営業 平日・日曜・祭日共 午後3時~早朝6時迄受付

これが宴会の楽しさです。



お一人様=1,500円より承っております

〈席料・サービス料は〉
一切いりません
お申し込みはお早めに
電話041-9161



シューベルトの男声合唱曲

福永陽一郎

1797年に生れて1828年に死んだフランツ・シューベルトは、その短い生涯の中で、音楽のあらゆる分野にわたって、一千曲の、正確には九百九十八曲の楽曲を作曲した。そしてその全部が不朽の生命を保持している。なかのいくつかの曲は、日本の小学生でも知っている。言いかえれば、シューベルトは、誰でもが知っている大作曲家なのだ。いまさら、「未完成」交響曲や「死と乙女」四重奏曲、「鱒」五重奏曲など器楽曲の名をあげるまでもないだろう。

シューベルトの作品中、八割ちかくが声楽作品である。そのうち、約百曲が合唱曲で、そのまた六割が男声合唱曲である。大作曲家として、もっとも多くの男声合唱曲を書いた人と言ってよい。その最初の作品は、十六才のときに書いた「酒宴の歌」“友よ、車坐に集まれ”で、シューベルトの音楽的環境が、男声合唱曲を書くきっかけを多くつくっただろうことが想像される。

無伴奏の小曲も多いが、ピアノや、その他の楽器の伴奏がついているものも少なくない。そのすべては、世俗合唱曲である。(シューベルトは、混声合唱のためにしか、宗教曲を書かなかった。有名な「ドイツ・ミサ」も例外ではない。男声版は後世の編曲である。)

シューベルトは、死の一ヶ月前まで男声合唱曲を書いていた。1828年の三月に、男声四重唱のために「聖霊讃歌」を書き、五月に、それを四重唱と合唱用に書きなおし、十月に、いっそうの手を加えて、八声部の独唱と男声合唱に管楽の伴奏という形に完成した。男声合唱のひびきは、シューベルトを終生とらえて離さなかったと言ってよいだろう。六十曲の男声合唱用の作品は、メロディーの美しさや魅力的な転調といったシューベルトの音楽の美点のすべてをそなえているだけでなく、男声合唱の機能を生かしているという点でも、他の追従を許さない。

ゴンドラを漕ぐ人

1824年の3月に書かれて8月に出版されたマイルホーファーの詩による男声四重唱とピアノのためのコンチェルタンテなリートである。シューベルトは同時に同じ歌詞の、しかし全然似ていない歌曲も書いた。

夜の明るみ

1826年9月に“とんでもなく高いテノール”と男声四部合唱とピアノのために書かれた、ロマンティックで魅惑的な小夜曲。対唱の形をとっており、ピアノの高音域の和音は、星のきらめきを暗示している。

神はわが牧者なり

「自然の中の神」(D 757)と同様、シューベルトが、ウィーンの有名な音楽家一族だった四人姉妹のフレーリヒ家のために、1820年の12月に書いた曲。品位の高さ、転調の豊かさ、高揚の烈しさの故に、人の心を奪い去る。

森の夜の歌

シューベルトには、ニックネームで「森の朝の歌」と呼ばれるオペラがあるが、まったく関連のない作品である。ホルン奏者のリサイタルのために、1827年4月に書かれた。本来、四本のホルンと男声合唱のための曲。

曲目解説

Der Gondelfahrer

Es tanzen Mond und Sterne den flucht'gen Geisterreih'n,
wer wird von Erden Sorgen befangen immer, immer sein?
Du kannst in Mondesstrahlen nun, meine Barke, wallen,
und aller Schranken los wiegt dich des Meeres Schoss.
Vom Markusturme tonte der Spruch der Mitternacht,
sie schlummern friedlich alle,
und nur der Schiffer wacht.

Gott meine Zuversicht

Gott ist mein Hirt,
mir wird nichts mangeln.
Er lagert mich auf grüne Weide,
er leitet mich an stillen Bachem,
er labt mein schmachend es Gemuth,
er fuhr mich auf gerechtem Steige zu
seines Namens Ruhm.
Und wall' ich auch im Todesschatten-Thale,
so wall' ich ohne Furcht.
Denn du beschuttest mich,
dein Stab und deine Stütze sind mir immer dar mein Trost.
Du richtest mir ein Freudenmahl im Ang-
esicht der Feinde zu,
du salbst mein Haupt mit Ole
und schenkst mir volle, volle Becher ein,
mir folget Heil und Seligkeit in diesem Leben nach,
einst run' ich ew'ge Zeit
dort in des Ew'gen Reich.

Nachtgesang im Walde

Sei uns stets gegrusst, o Nacht!
aber doppelt hier im Wald,
wo dein Aug' verstoh'ner lacht,
wo dein Fusstritt leiser hallt!
Auf der Zweige Laubpokale
giessst du dein Silber aus; hangst den
Mond mit seinem Strahle uns
als Lamp' ins Blätterhaus.
Sausehnde Luftchen sind deine Reden,
spinnende Luftchen sind deine Reden,
spinnende Strahlen sind deine Faden,
was nur dein Mund beschwichtigend traf,
senket das Aug' und sinket in Schlaf!
Und doch,
es ist zum Schlafen zu schon,
drum auf!
und weckt mit Hornergeton,
mit hellerer Klänge Wellenschlag,
was früh betäubt im Schlummer lag, auf!
Es regt in den Lauben des Waldes sich schon,
die Voglein, sie glauben, die Nacht sie
entflohn,
die wandernden Rehe verlieren sich zag,
sie wahren es gehe schon bald an den Tag,
die Wipfel des Waldes erbrausen mit Macht,
vom Quell her erschallt es, als war er
erwacht!
Und rufen wir im Sange. "Die Nacht ist
im Walde daheim!"
So ruft auch Echo lange. "Sie ist im Wald
daheim!"
Drum sei uns doppelt hier im Wald gegrusst,
o holde, holde Nacht,
wo alles, was dich schon uns malt
uns noch weit schöner lacht.

ゴンドラの舟人

月と星とが、はかないひとときの、精霊の行列のように、
輝き、踊っています
この世のなやみを忘れて それを眺めているとき
一月の光の中にいるとき—わたしの小舟はゆれて、
沖にはかな海を、すべての束縛からはなれて、さまようのです。
聖マルコ寺院の塔の鐘が、真夜中を告げて鳴ります。
舟を漕ぐ人だけはおきていますが
ほかはみんな 平和にまどろんでいます。

神はわが牧者なり

神様はわたしにとって羊飼いの様な方ですから
わたしには、何かが不足しているということがありません。
神様はわたしを緑の野にはなし飼いにし下さり、
やすらぎの水のほとりに連れてって下さいます
神様はわたしの悲しみにうちおれた魂を生かえらせ、
その名前への誉れのために、正しい道へ導びかれます。
たとえ、死の影の谷をゆくときも、
わたしは、わざわいを恐れはしません。
あなたがわたしと共におられ、
あなたとのむちと、あなたのつえが、わたしを
慰さめるためにあるからです。
あなたは敵の眼前で、わたしの前に宴会を用意
して下さいます。
あなたは、わたしの頭にとおとい油をそそがれ、
あふれる杯におぼれさせます。
わたしへの恵みといつくしみは生きているかぎり続き、
わたしがただひたすら、永遠の家に生きつづけ
ることになることは、
たしかなことです。

森の夜の歌

お、夜よ！ ようこそとあいさつを贈ろう。
また、この森におとずれてくれたね。
お前の眼が、そっと笑っている。
お前の足音が静かにひびく。
離屋（はなれ）の園亭の葉ぶきの屋根の上に、
かがやく月の銀色の光がかり、
中には灯がともる。
そよ風が吹き 木々の葉がささやき
光りのかげがひろがった糸のようだ
それも鎮まると あたりはみな
眼を閉じて睡ってしまう。
だがしかし、
眠りのあまりの美しさに
われを失っていると
角笛の音が明るく鳴りわたって
こころよいそのリズムが
起きよ！起きよ！ と眠りをうばい去る。
森の小枝は ゆらゆらとゆれて
小鳥たちも 静かに眠りをさまし
小鹿は 姿をかくし、
泉は 清らかに あふれでる。
いま「は夜のもの」とうたいかければ
遠いこだまとなって「夜が森のもの」とこたえ
てくる
森の中で うたいあげよう
この やさしい夜
こんなにも美しく
こんなにもたのしい森の夜を。
「夜の明るみ」は
割愛しました。
〔訳：福永陽一郎〕

「蛙の歌」＝人間社会のドラマ化

富岡 健

草野心平の詩的経過をみると、初期の作品には極めてアナキスティックな色彩が濃い。とりわけ我々が取り上げた「蛙の歌」は彼の第一詩集『第百階級』に収録されているのだから当然この思想に気がつく。彼の詩に存在するアナキシズムを伊藤信吉氏は次のように言っている。

「それは庶民生活への没入や共感、なにともしれぬ一種の漠然とした叛逆性、生活そのものを投げつけるような態度など、そういう生活の渦巻においてアナキスティックである。」

『第百階級』という言葉は実際上の熟語ではない。人間界では第四階級しかないが、そういった階級をつきぬけた途方もないアナキーの世界——階級なぞない被圧迫情況——での生活を蛙の世界に発見した心平が、その強烈な表現意識による詩的造語であると言われている。

善良で無抵抗である裸の生きものの被害者意識と残酷性をただ単にダイレクトに訴えているのではない。そういう悲劇的情況にありながら、ユーモアを発生し、そこに泣き笑いのような何ともいえぬ哀愁を描き出しているのは不意打ちの表現としてたいへん魅力的である。

そしてこの「泣き笑い」の詩が我々にたいへん強烈な印象を与えたのである。

この組曲は南弘明が東京芸術大学二年に在学中（20才）に作曲されたものである。初演は昭和30年の秋、東京上野の奏楽堂にて作曲家自身の指揮、声楽科1、2年有志によって行なわれた。

「蛙はでっかい自然の讃嘆者である。
蛙はどぶ臭いプロレタリアトである。
蛙は明朗なアナリスト
地べたに生きる天国である。」
(詩集「第百階級」のサブタイトル)

＊小曲

月のおもてを雪がふり。
まんまるい。
にびいろ餅の雪がふり。

土のなかには。
何万の。
眠ってるだろう。
蛙の眼。
そのいくつかは見開いて。
光ってもいる。
蛙の眼。

月はいつしかうす暗く
幽霊よりもうす暗く。

しんしん。
しんしん。

いまはなんにも見えないよ。

＊亡 霊

蛇めもおれの口に喰われおるわ。
みみずのように喰われおるわ。
つめったくぬるぬるしておいしいわ。

わい わい わい
らりらら らりらら

踊れるわ。踊れるわ。
脚が生えおるわ。
五本。六本。九本。十本。

わい わい わい
らりらら らりらら

うふふっ。蛇めらが逃げおるわ。
畔から。畔から。田ん圃から、畔から。
逃げおるわ。逃げおるわ。
さあみんな集りなされ。
たんぼぼにすかんぼに火をつけなされ。
田のお祭りだ。万歳祭りだ。

わい わい わい
らりらら らりらら

青紫の。毒薬色の。空が。田ん圃が。
ぐるぐるぐるぐる
レンズになって廻りおるわ廻りおるわ。

＊鰻と蛙

カキクケコ カキクケコ
ラリルレロ ラリルレロ
ガッガッガ ガギグゲゴ
ラリルレロ

なあんだ。鰻だ。
鰻がとおるんだ。

カキクケコ カキクケコ
ラリルレロ ラリルレロ
ガッガッガ ガギグゲゴ
ラリルレロ

＊蛇祭り行進

びるるるるるっ
はっはっはっはっ
ふっふっふっふっ

後足だけで歩きだした数万の蛙。
篠竹に青大将をつきさした
ゲニゲを先頭に。
渦巻石鱈の◎のように
だいらんを描いて行進する。

びるるるるるっ
はっはっはっはっ
ふっふっふっふっ

おうい歩調をあわせろうい。
おういもっとその篠を高くあげろうい。
どの口からもどの口からも
蛭がしゅっしゅっ流れでるのだ。

びるるるるるっ
はっはっはっはっ
ふっふっふっふっ

まっ暗闇の青たんぼを。
煙草の輪のようにゆらゆらして。
蛭たちが渦巻のまんまで
あがってゆく。

びるるるるるっ
はっはっはっはっ
ふっふっふっふっ

行進曲は埋葬曲。
心はあかるいお祭り提灯。
そよかぜは絹のうすもの。
星畑は花箋。

ろんど。ろんど。

びるるるるるっ
はっはっはっはっ
ふっふっふっふっ

＊＊秋の夜の会話

さむいね。
ああさむいね。
虫がいないね。
ああ虫がいないね。
もうすぐ土の中だね。
上の虫はいやだね。
痩せたね。
君もずいぶん痩せたね。
どこがこんなに切ないんだろうね。
腹だろうかね。
腹とったら死ぬだろうね。
死にたかあないね。

曲目解説

ショスタコヴィッチの「十の詩曲」

福永陽一郎

デイミトリ・ショスタコヴィッチは、最近その第十五番交響曲が日本でも紹介された、現代最大の作曲家。その音楽の性格は、ひと言でいえば、チャイコフスキーの血が流れているベートーヴェンというところだろう。

ショスタコヴィッチは、ロシアにソヴィエト政権が確立したあとで活動を開始した作曲家である。したがって、思想的には共産主義革命を肯定し、唯物史観的な音楽美学の具体化に一生を捧げてきたように見える。スターリン時代の皮相的な社会主義的リアリズムの要求にも、現実的に応え、オラトリオ「森の歌」や、本夕の曲目である「十の詩曲」を書いた。しかし、そうした、結論的に“通俗的”な目的のために書かれた楽曲が、高い気品と香気をあわせ持っている事実が、驚歎するべき才能の証明として、輝やかな光をはなっている。

「十九世紀から二十世紀にかけての激動期の革命詩人の詩による無伴奏混声合唱の十の詩曲」は、1951年に書かれ、10月10日に、シュヴェシニコフ指揮の国立アカデミー・ロシア合唱団によって初演された。この合唱団が来日したおり、京都のステージにもものせられたことがある。

本日、演奏されるものは、日本人合唱団のスタミナも考慮に入れたうえで選出された六曲を、福永陽一郎が無伴奏男声合唱用に編曲したもので、第一版は1965年に書かれ、第十四回東西四大学合唱祭で初演された。その演奏は“絶唱”とまで称讃を受け、日本の合唱演奏の最高をきわめたものと言われた。

1968年に第二版が書かれ、同志社グリークラブの第六十四回定期演奏会で、その版の初演がおこなわれている。

原曲及び原歌詞は、大部分が、ロシア革命詩人の詩であって、革命前後のロシア民衆の、生活、緊張、感情、精神を、合唱集団の力によって表現しようとしたものであるが、新しく書きあらためられた日本語歌では、この曲の中に音楽的に結晶させられている。革命期の人々のはげしい情熱、専制への憎しみ、自由への深い愛、そして人間の未来への大きな希望を、今日なおわれわれ自身の普遍的テーマであるとしてとらえられている。

ベトナム戦争がようやく日本のわれわれの生活にかけを落としはじめる頃、第一版が初演され、パリの和平会談がいつこうに進展しない頃、第二版が演奏され、そして今日、総合版が演奏される。感じるところが大きい。

欧 風 料 理

宴会・クラス会 ￥800コースより

レストラン 六 甲

烏丸通上立売上る西側
TEL 432-1427

1.雄々しく進もう

雄々しく進もう
力を合わせて
吹き荒れる嵐に
まげずにむかえよ

目ざすは夜明けぞ
望みあふれる朝
陽の光満ちて
黒雲消えゆきぬ

いまこそ眼をさませ
晴れわたる空に
旗はひるがえる
祖国に春がくる

2.果てなき荒野

自由の夢は遥かに
若き命 果敢く
希望に燃えた過ぎし日の
熱くたぎる命を
踏みにじる寒さよ

冷たき夜のしじまに
胸の底こごえて
悲しき仮寝の夢は
果てなき荒野をさまよい
恐れにおののくとき

はてしなき彼方さして
祈りの声きこえ
されどひとやは閉ざされ
暗きさだめ終わりなく

とらわれし我等
若き命 はかなく消えぬ
のぞみも夢も消えさりし我等

暗い月日よ
されど正義の炎
あかく燃えて
裁きの日は近づく

自由の夢は遥かに
若き命 果敢く
希望に燃えた過ぎし日の
熱くたぎる命を
踏みにじる寒さよ

われら同じさだめに
とらえられて
胸に忘れずきざね

聞くらくせまりて
つぶやく声ひくく
ひとやにながれゆく

4.怒りの日

血潮は湧きて怒りはたぎる
新たなるいけにえここに
死せるものもだして眠る
湧きあがる激しい心をこめた声…
……………

貧しい民のひくい声
つぶやく祈り心こめて
しいたげられし人々は
空の彼方を仰ぎ見る

死にゆきし者に栄えあれ
血塗られたものに安らぎを
聞かずや人よ
しいたげられし民の声 この声を
絶え間なく続く戦いに
逃げるすべもなく かりたてられ
苦しみ今は……はてもなし……
真昼も暗い死せる世界

若者の命 幼な子の命 守りぬけ
逃げるすべなき戦かいに
たれのために するいくさか
望みを与えよ わが友よ

答えはなくて
静寂を破る足音

あがる砲音 耳をさき
打ちだすためは雨と降り
野原に かばねうず高く
おお このうめきを忘れな
死にゆく者の 怒りをもて
敵をたおさん……………

血潮は湧きて怒りはたぎる
むぎ砲音 まだつづく
血潮は湧きて怒りはたぎる
血潮はながれ 赤黒く
油と泥にまじりゆき
世界のむすこ むすめたち
よみがえらせる すべもなし

血潮は湧きて怒りはたぎる

5.鎮魂歌

陽は落ち つつおとも

はやたえぬ
流れし血の色も
なお残る兵士の
あさき夢

倒れししかばねに
悲しみの
うめきをもらしつづ
冷たき風吹きて
わたりゆく

眠れよ やすらかに
我が友よ
東の空白く
明るみぬ

戦い傷つきし
我もまた
新たな戦いに
いでたたん

眠れよ やすらかに
眠れよ 我が友よ

深い霧たちこめる
真夜中に
明日への貯えを
かためつつ

ねむれよ 我が友よ
東の空白く明るみぬ
とこしえに忘れず
汝が誓い

陽は落ち つつおとも
はやたえぬ
流れし血の色も
なお残る兵士の
あさき夢

6.歌

死せるものに涙もて
悲しむをやめよ
つよく立ちてすすむもの
うけてよ わが歌

倒れし者 過ぎし日の
歌をおもいだせ
胸にもえたつ炎は
怒りを秘めつつ

涙ぬぐい 勇士らの
いさを たたえつつ
もろて高くさしのべて
誓いも新たに

…………死せる友の心つぎ
たち上がれ いまぞ
地上の平和を求めつつ
いしづえ築かん
世界の幸を求めつつ
手に手をとりあい

まなこひらき 悲しみの
霧の彼方見よ
夜あけすでに近づきて
湧きあふれる歌

ゆけ わが歌 飛びゆけ
翼にのり 飛びゆけ
若きちから 限りなく
すすめ

ひびけ とどろけ 高らかに
遠く わが歌とどろきゆけ
地の果てまで
若者の世界
若者のねがい
ひびきわたれ

ゆけ この歌 翼をもて
戦いつきぬけて
すべてのいのちを燃えたたせるため
わが歌ゆけ

山の彼方まで 海の彼方まで
ゆけ わが歌よ 飛びゆけ
明るい陽よ 春の日よ
のぞみ満ちあふれた花咲く日よ

重きさだめ はらわれて
暗闇去りゆき
大地ふかく息づける
希望のいのち 見よ

きけ とどろく海鳴りを
どよもすいかづち
命に眼覚めし春に
湧きあがる歌よ

さやかに朝風は吹き
よみがえる大地
小川の水は青みて
せせらぎは歌う

花さく春の朝に
大空見上げて
われらが声のかぎりに歌う

自由の歌 われらの歌声よ
ひびきわたれ いざ

全国殆んどの各地に配達する 酒有連加盟店

アサヒビール 和洋酒類

株式会社 小田佐商店

京都市中京区木屋町通三条下ル

TEL (221) 0 0 7 4

Profile



福永陽一郎

1926年 神戸に生れる。東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身、1951年藤原歌劇団に入団、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。1956年～65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍、同団の第三次渡米公演に同行。アメリカ、カナダの主要都市での公演を指揮した。1959年、61年、63年、67年イタリア・オペラ来日公演には副指揮者、合唱指揮者として参加。歌劇指揮者として、レパートリーは50数種のオペラを持ち、日本屈指のベテランである。

NHK-TVでは、「楽しいコーラス」「音楽をどうぞ」「音楽は世界をめぐる」のレギュラー指揮者をつとめ、他に「芸術劇場」「夢のセレナーデ」にも登場している。

合唱音楽に関して経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。1952年、畑中良輔氏と共に、東京コラリアーズを創立、日本最高のプロ男声合唱団に育てた。アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も過去二十年間、断絶することなく持続され、客演指揮、合唱講習会の講師、コンクールの審査員として、全日本的に活躍。又、合唱用の編曲作品は数百曲に及ぶ。

“あした”を迎えて

同志社グリークラブが、創立60周年を迎えたのは、もう昔話になるが、私が、このクラブのMusical Adviser に就任してから四年目のことで、この仕事を引き受けたときの、一応の目標がこの60周年であったため、それは同志社グリークラブの歴史の中のひとつのピークとなった。そのとき、「峠を越す」ということが下り坂を意味することになっては困るというので、次の年は、ショスタコヴィッチの「十の詩曲」による六つの男声合唱曲の初演をはじめとして、ルネッサンスの宗教曲、ブラームスの「ジプシーの歌」それにロバート・ショウの高度に洗練された編曲によるヨーロッパ民謡集という充実したプログラムに精力を集中することで乗り切った。60周年のために蓄積された実力は、実際はこの61年目に開花したのであった。

その年のプログラムで、私は、Looking aheadと題して大言壮語している。日本で先頭を切って「固定ド法」を採用すること。レパートリーの再検討の約束など。結果論として言えば、こうしたやみくもな前進策が、浮きあがってしまったのであろう。知らぬうちに、グリーは下り坂を降りはじめていたのであった。

三年前の絶望的な状態でも、伝統の力は生命を失わなかった。悲壮感にだけ支えられた時期を抜け出して、去年のグリーは、明るい東の空にむかって歩き出し、人数こそ最盛時の四分の一になりながら、合唱能力に於てはかつての水準から大きく上昇した成果をはたし、今年度の春の四連でうたった三善晃の「三つの抒情」では、「男声合唱のイメージを一新した」と評価された。そのときは、メンバーの一人一人が、一個の詩人であり、一個の完全な音楽家であるという合唱団の理想の極限が実現したのであった。

今夜、なつかしいOBの顔もまじえて、ショスタコヴィッチをうたいます。すっかり明けた“あした”を祝いたい。



こう 黄 耀明(テノール独唱)

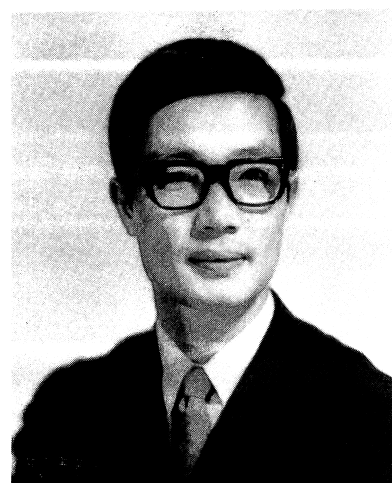
東京芸術大学卒業。渡辺高之助に師事。在学中よりその美声は知られ、卒業後、コンサート、放送に活躍。オペラでは1965年「魔笛」のタミーノでデビュー。1967年文化庁青少年芸術劇場の「蝶々夫人」ではピンカートンを演じ好評を得た。1968年春、渡伊、ミラノに留学、翌69年シチリー島のエンナー・コンクールに第3位入賞、続いてメラーノのコンクールには第2位に入賞。

1970年11にはミラノのレオーネⅦ劇場の「セヴィリアの理髪師」のアルマヴィヴァ伯爵に抜推され、好評を得た。これは東洋人の男声歌手としてはじめてのことである。

1971年5月、一時帰国、5月から7月にかけて、ミラノ、ピサ、ナポリで「4×5」(ダニロ・ロレンツィーニ曲) ジェノヴァで「セヴィリアの理髪師」に出演し、7月末に帰国。秋には民音の「椿姫」のアルフレッドを各地で歌い好演をたたえられた。

1972年4月、大阪国際フェスティバル、オペラ「ひかりごけ」(初演)に弁護士で出演。11月には「セヴィリアの理髪師」のアルマヴィヴァ伯爵を演じ、共に絶賛された。

二期会会員。



笠原 進(ピアノ伴奏)

昭和38年、大阪学芸大学特設音楽課程ピアノ科卒業

39年 大阪学芸大学専攻科修了

43年 アメリカ・ノースウェスタン大学音楽院修士課程修了

44年 リサイタル(毎日国際サロン)

現在 大阪楽友協会ピアノグループメンバーとして、本年度はブラームス、フォーレ等の作品を積極的に発表。また同志社女子大学音楽科専任講師として指導にあたられる。

関西音楽界では独奏者としては勿論、数少ない本格的な独唱、合唱伴奏者として不動の地位を築かれ、福永陽一郎・畑中良輔・北村協一諸先生から、貴重な合唱伴奏ピアニストと賞賛されております。

先生は音楽に対して非常に厳格である反面、一旦練習を離れると本当に我々と友達のようなおつきあいをして下さいます。演奏旅行の時、お疲れにならない様にと、グリーン車を用意しても「一人じゃいやだ」と二等車に來られて、みんなと徹夜でセブンブリッジをされるという気さくな先生です。

Profile



大久保昭男(ヴォイストレーナー)

昭和28年東京芸術大学音楽学部声楽科を卒業。矢田部勤吉氏に師事。近衛秀磨指揮、青山杉作演出によるオペラ「カルメン」のモラレス役でデビュー。山田耕筰指揮、オペラ「黒船」、ドヴォルザークのオペラ「ルサンカ」等にも出演。昭和34年にドイツ・リート、日本歌曲によって、第一回リサイタルを開く。現在、演奏に、大学合唱の発声指導に広く活躍され、東西四大学合唱演奏会では、そのうち三校が先生の発声を習っている。

美しい秋がやって来た

何事も同じだが、ある一つの大切な仕事を懸命にやっていると一年間というものは全く早く過ぎてしまうものです。

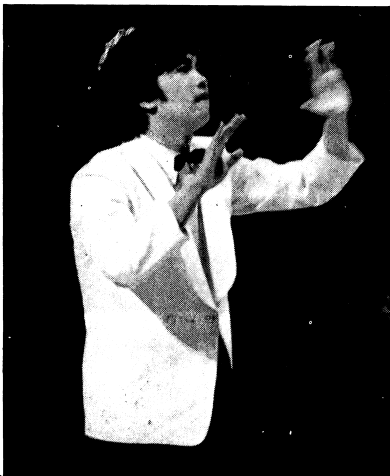
「本当の音楽をする」という仕事をしている君たちは、ある時は非常に苦しい時でもあり、それに負けそうになることさえある。

しかし、大学生としての生活の中の時間を、勇気をもって「音楽する時」にしていることは何といても音楽を心から愛しているからに違いないと思う。

同志社グリークラブは音楽を愛するもの達のかたまりだと思う。メンバーは少いが問題はその濃度であり、これからもその音楽を心から愛する心を常に持って、人数が多くなろうが、少なくなろうが、大きな誇りを持って進んで行ってくれる様に願っている。

一つの大きな尊い仕事をやりぬこうとする諸君の心には深く輝く音楽の燈火が一生もえて消えないであろうと信じている。

今年も定期演奏会を立派に開くことが出来たことを喜び、今夜の演奏も本当の音楽を歌ってくれる様祈っている。



富岡 健

同志社大学在籍二年目にして学生指揮者の席につく。彼の音楽に対する感覚と造詣は学生指揮者の域にとどまらず、その卓越した音楽性は多く注目されている。

先生について指揮法は学んでいないが、福永陽一郎・若杉弘・畑中良輔・日下部吉彦等の諸先生と語らいを通して多くを学んでいる。

普段、一緒に話しをしても、そのあまりにも調子に乗りすぎた会話しか生まれなないせいか、「この人、馬鹿じゃないかしら」とまで思うのに、いざ練習場の指揮台に上がった時の、あの近寄りがたいほどの厳しい、恐ろしい眼差し……。

そんな練習中に、サーッとあなたの洗濯したあとの真白いシャツの様な心を象徴した可愛い微笑みが浮かんだときの、すざましいショックを私は今だに忘れることができません。とにかく夢にまで見るのですから。

(あるグリーンメンより)

中村 徹夫

超次元の世界へ

歌う。私達は歌う。

この瞬間に自己のすべてを昇華させ、広大な世界へ舞い上ろうとしています。——二次元から超次元の世界へ……。

めまぐるしく移り変わる現代においては、自からが強く行動しなければ、随性と妥協に押し流されてしまいます。そんな中で、私達は自からの意志で自己規制の場としてグリークラブを選びました。そして自からに音楽創造の苦しさを課したのです。『美なるもの』を可能な限り完璧なまでに創造する為には、それ相当の忍耐と努力が必要です。それに対する行動は、まさに自からの生き方を自からに問う一つの挑戦でもあります。そして規制された中から、全的に自由な自己の姿を、人間性の深淵に迫らんとする超次元の世界を垣間見るのです。

私達は歌う。

歌よ、人の心にとわに、とわに響きわたらんことを!!

祝 同志社グリークラブ第68回定期演奏会

41th 関西学院グリークラブリサイタル

(来春ヨーロッパ演奏旅行決定記念公演)

1973年1月13日(土)神戸国際会館

1973年1月14日(日)大阪厚生年金会館大ホール

1. 「サンクティニコライのためのミサ曲より」 指揮 林 雄一郎
2. 「レーババラード集より」 指揮 畑中 良輔
3. 「Sea Shanties」 指揮 北村 協一
4. 男声合唱曲のための組曲「蛙」 指揮 北村 協一
5. 男声合唱組曲「月光とピエロ」 指揮 高谷 哲司

神戸A席¥400 B席¥300 市内各プレイガイドにて発売中 (0798)52-6471

大阪A席¥500 B席¥400 連絡先=関西学院グリークラブホール <直通>

グリークメンバー通学別紹介



徒 歩



市バス・京都バス



阪急電車



京阪・近鉄・国鉄



市 電

京福電鉄



MY CAR



Members

名誉顧問 片桐 哲
顧問 遠藤 彰
技術顧問 福永陽一郎
ヴォイス・
トレーナー 大久保昭男

幹事長
内政
外政
外政サブ
外政サブ
外政サブ
ステージ
ステージサブ

中村 徹夫
瑞慶村 啓一
吉川 博
東川 憲和
平瀬 芳雄
石川 和雄
池田 周一
大島 功
小糸 徹

庶務 大崎保則
会計 松村俊明
演奏旅行 林 修
文連常任 横尾 修
指揮者 富岡 健
パートリーダー
ト ッ プ 萩 巢 潤 三
セカンド 金子 悦 文
バリトン 藤 掛 富 夫
ベース 今 藤 惠 証

Top Tenor

中辻 隆 (経4) 彦根東高
吉田 重春 (商4) 桜台高
萩巢 潤三 (経3) 寝屋川高
富岡 健 (法3) 同志社香里高
松村 俊明 (法2) 洛東高
吉川 博 (文2) 茨木高
大島 功 (法1) 同志社香里高
後藤 文雄 (文1) 新潟南高
田野 耕樹 (商1) 広島城北高
小林 郁夫 (経1) 新島学園高
小林 克良 (商1) 渋川高
福元 俊広 (経1) 甲南高
山口 正 (工1) 同志社香里高
伏村 淳二 (文1) 夕陽ヶ丘高
井上 誠 (経1) 邑久高

Second Tenor

平井 雅則 (文4) 東住吉高
坂倉 正信 (商4) 浜松南高
高橋 宗久 (商4) 神戸高
金子 悦文 (法3) 同志社香里高
瑞慶村 啓一 (経2) 都立深沢高
大崎 保則 (商2) 伊勢高
村上 一夫 (商1) 小豆島高
村上 利行 (経1) 阿部野高
山口 篤 (商1) 栃木高
新谷 哲章 (工1) 広島城北高
高田 正 (文1) 東山高
加納 隆 (法1) 同志社香里高

Bariton

幸田 幹雄 (商4) 東筑高
木村雄二郎 (法4) 今宮高
横尾 修 (法4) 泉陽高
緒方 盛久 (法4) 豊津高
鳩 香成 (商4) 兵庫高
藤掛 富夫 (法3) 瑞陵高
亀島 久和 (経3) 同志社香里高
小糸 徹 (商2) 広島大付福山高
東川 憲和 (商2) 同志社香里高
池田 周一 (法2) 同志社香里高
田村 和男 (法1) 下関西高
梅本 芳男 (経1) 同志社香里高
坂田 憲彦 (法1) 同志社香里高

Bass

永田 裕 (文4) 洛東高
木村 行夫 (文4) 尼崎東高
中川 嘉一 (法3) 同志社香里高
中村 徹夫 (法3) 豊中高
今藤 惠証 (法2) 彦根東高
石川 和雄 (工2) 西尾高
林 修 (経2) 総社高
平瀬 芳雄 (経2) 山崎高
河村 淳 (商1) 下関西高
坂下順一郎 (文1) 七尾高
山内 規生 (文1) 同志社香里高
加畑 宏 (工1) 同志社香里高
長谷川隆章 (工1) 同志社香里高

この一年のあゆみ



春季合宿



第9回京都合唱祭



夏季演奏旅行

- 1971年12月2日 同志社グリークラブ第67回定期演奏会
- 12月11日 広島メサイア演奏会(広島市公会堂)
- 12月24日 第7回全同志社メサイア演奏会
(京都会館第一ホール)
- 1972年2月16日 第67回同志社グリークラブ
卒業生のための送別演奏会
(京都会館第二ホール)
- 3月28日 }
 } 春季合宿(服部緑地ユースホステル)
- 4月1日 }
- 4月4日 } 入学式参列(栄光館)
- 5日 }
- 5月13日 関西五大学交歓演奏会
(吹田市民会館大ホール)
- 5月28日 第9回京都合唱祭
(京都会館第一ホール)
- 7月1日 第21回東西四大学合唱演奏会
(京都会館第一ホール)
- 2日 } (大阪フェスティバルホール)
- 7月6日 同志社グリークラブ役員改選
- 7月22日 毎日放送のラジオ番組出演
- 8月5日 } 夏季演奏旅行
 } 彦根・名古屋・新潟・十日町
- 8月18日 } 前橋・福島・札幌
- 9月7日 }
- 9月 } 夏季合宿(服部緑地ユースホステル)
- 9月13日 }
- 10月15日 第6回チャリティーコンサート
(徳永ゼミ主催・京都勤労会館)
- 10月16日 田中サトルと同志社グリークラブの夕べ
(学生会館ホール)



夏季演奏旅行

- 10月22日 同志社中学校学園祭出演(栄光館)
10月28日 ノートルダム女子大学学園祭出演
10月5日 奈良県立商業高校学園祭出演
11月15日 同志社女子大学音楽学科
第4回演奏会出演(栄光館)
12月10日 同志社グリークラブ第68回定期演奏会
12月16日 広島メサイア演奏会(広島市公会堂)
12月25日 第8回全同志社メサイア演奏会
(京都会館第一ホール)
1973年2月14日 第68回同志社グリークラブ
卒業生のためのフェアウェルコンサート
(京都会館第二ホール)

お 知 ら せ

同志社グリークラブ第68回卒業生のための

送 別 演 奏 会

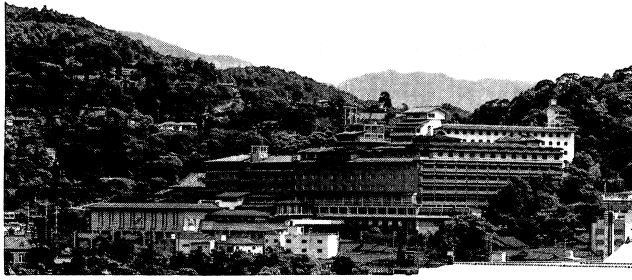
1973年2月14日(水) 6:30P.M. 京都会館第二ホール 入場無料

第8回 全同志社メサイア演奏会

1972年12月25日(月) 6:30P.M. 京都会館第一ホール

指揮	山田一雄	ソプラノ	大川隆子	S席900円
合唱	同志社グリークラブ 同志社女子大音楽科 一般公募	アルト	秋葉京子	A席600円
		テノール	金谷良三	B席300円
		バス	齋 求	
管弦楽	同志社交響楽団	オルガン	鴛淵紹子	
		チェンバロ	有賀のゆり	

Miyako Hotel



年末年始のご宴会は格調
ある雰囲気の中で。

- 年末年始ご宴会プラン
- ファミリーパーティープラン

ご予約・お問合せはセールス課宴会承り係へ

都ホテル 京都・東山・けあげ
電 075(771)7111



SUNBURY BAR

KYOTO

四条河原町東入ル南側 221-5638



best food for best living

フランスパン 洋菓子
サンドウィッチ

Our Daily Bread

デイリーブレッド

S 進々堂

京・寺町竹屋町 TEL (231)4361-3

掛け金が100%返るマルマル保険



火災相互保険

第一火災海上保険(相)京都支社
下京区四条通東洞院日本生命ビル TEL 211-4671

西湖堂印刷株式会社
京都市下京区高倉四条下ル TEL 351-9127(代)

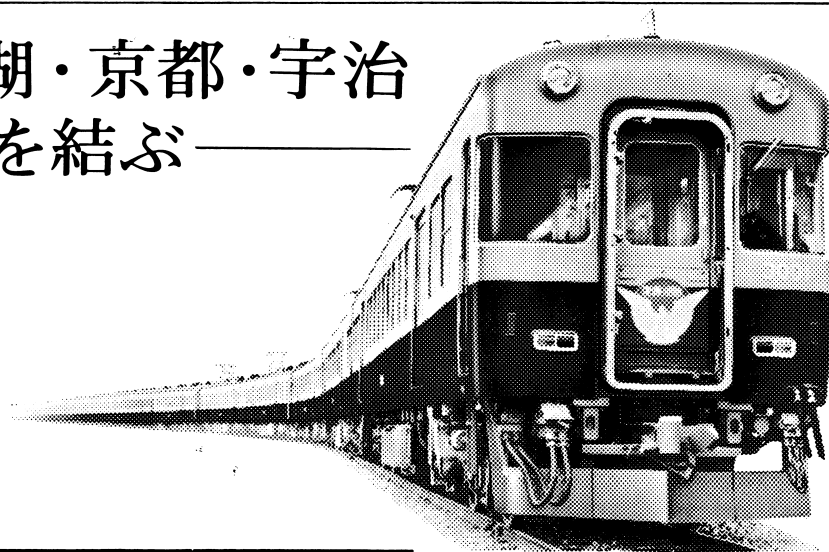


若いから〈純生〉です。
うまいから〈純生〉です。

サントリービール〈純生〉

大阪・京都・宇治・びわ湖を結ぶ京阪電車

びわ湖・京都・宇治
大阪を結ぶ



京阪電車

●大阪淀屋橋～京都三条間 所要45分

特急停車駅

大阪 淀屋橋 (地下鉄御堂筋線と接続)

北 浜 (地下鉄堺筋線と接続)

天満橋 (地下鉄谷町線と接続)

京 橋 (国鉄環状線と接続)

京都 七条・四条・三条



大阪・京都・宇治・びわ湖を結ぶ京阪電車

予算もコースもあなたがきめてください…

あなたの個性がひかる旅…

EUROPE—α

ヨーロッパ・アルファ14日間・15日間

¥168,000+α

東京—パリ往復航空運賃及びパリ
2泊ホテル代、食事5食、パリ市内
観光、空港—ホテル送迎バス代込
※パリ滞在中、次のαツアーの中から
1つ選んで、必ずご参加ください
シャモニーの7日間

α スチイ イン パリ

50,000
パリの

α クッキングスクール オブ パリ

58,000
パリ・

α シャモニーでスキーを

60,000
本場の

α オーソドックス ヨーロッパ

100,000
ヨーロ

出発日 12月23日(土) } 14日間 2月27日(火) } 15日間
12月30日(土) } 3月13日(火) }

お申込み・お問合せは

日本旅行関西海外旅行

大阪市北区曾根崎中1丁目64 梅田第一ビル

数々の魅力が秘められた北アフリカの都市
コートダジュールの華やかな人々

北アフリカと地中海を訪

18日間 350,000円

出発日 3月28日(水)
コース 東京→カイロ→アルジェ→カサブランカ→マラゲッ
パルセロナ→バルマ→ニース→モンテカルロ→ローマ

SKING IN CHAMONIX

15日間 228,000円

雪との対話—それはスキーのたいせ
つなファクターです。シャモニーで
はすべてがゆったりしています。
モンブランをながめながらのダウン
ヒル、ながくながく続くシュブール
たまにはのんびり日光浴……
とにかく、一週間雪との対話を思い
きりおたのしみください。

出発日 12月30日(土) 2月27日(火) 3月13日(火)
2月27日 出発には、ササガワ ネオ スキースクール校長、笹川和郎氏が同行します

でな
着る人の人柄を表わす
往々
衣裳というものは、
けばけばしくなくだ
要は立派で、しかも
が、奇抜なのはいかん
立派なのを揃えるがよい
かぎり
服装は、財布の許す

(シエイクスピーア
ハムレットより)

J.C.B
大信販
クーポン
取扱店

全日本技術コンクール審査員の店

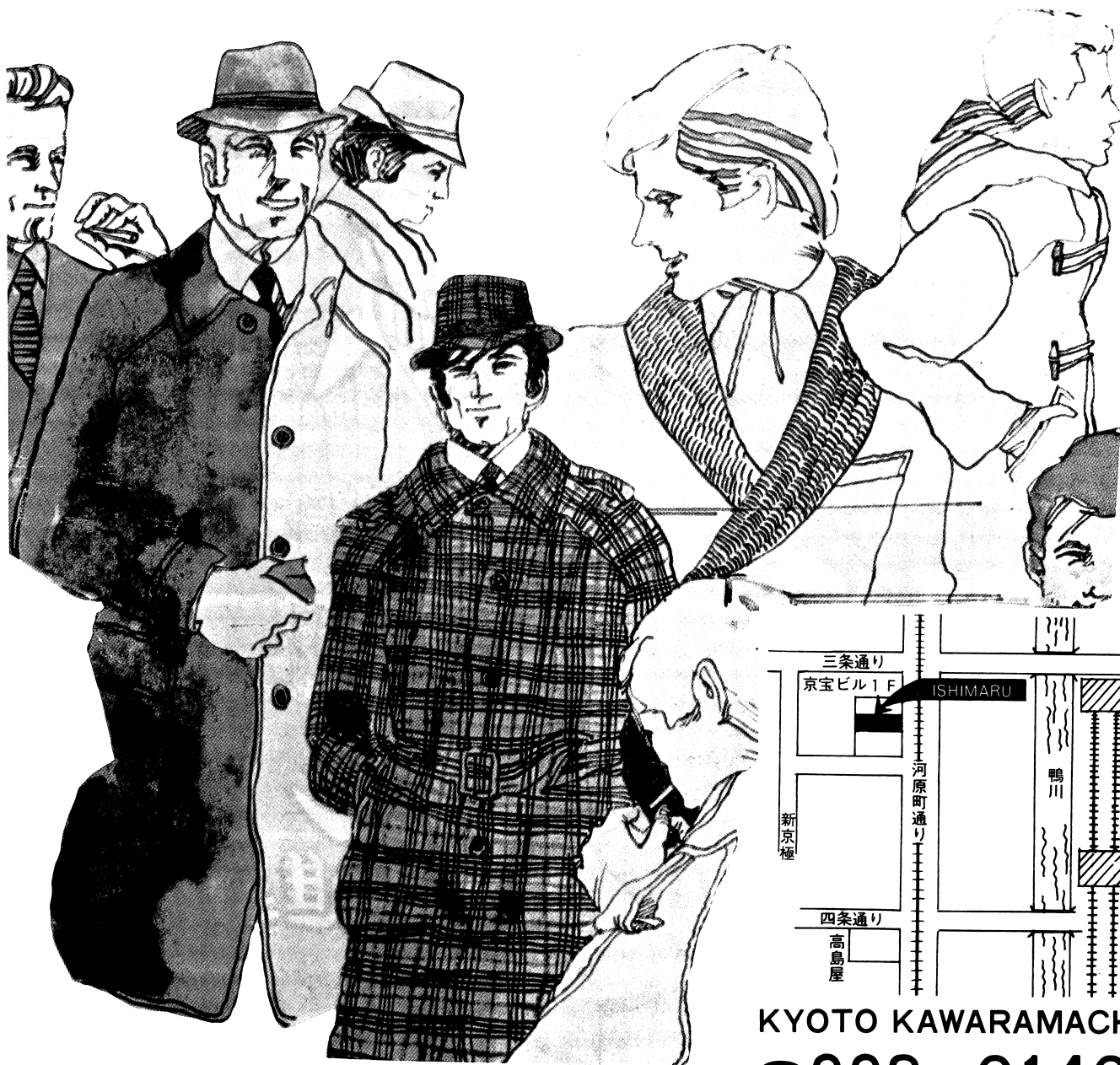
伏村洋服店

お誂専門店

大阪市天王寺区味原町17番の1
電話 (771) 4656 ~ 7
地下鉄千日前線鶴橋駅下車
西100m

メンズ
レディス ファッションデパート

“ビッグベツイシマル”



KYOTO KAWARAMACHI

☎223-0140

bigVEN

FASHION SHOP

ISHIMARU

Men's Clothing

YORK

for
the traditional
minded clientele

YORK WEAR INC.